

授業科目：	解剖学実習における人体解剖見学実習		
科目区分：	保健福祉学部専門科目	受講者数：	64名
担当者：	津森 登志子 <sup>1</sup> , 加藤 洋司 <sup>1</sup> , 高宮 尚美 <sup>2</sup> , 佐藤 勇太 <sup>2</sup> , 金指 美帆 <sup>2</sup> , 岡村 和典 <sup>2</sup> (保健福祉学部・看護学科 <sup>1</sup> , 理学療法学科 <sup>2</sup> )		
アクティブ・ラーニングのタイプ：	行動型 ・ 参加型 ・ 複合型 (※行動型・参加型ALを組み合わせ実施)		
キーワード (具体的なAL手法等)：	学修支援アドバイザーの活用		

## 1. 授業の概要と目標

理学療法学科・作業療法学科の必修科目で2年前期開講，全90時間の実習科目。骨学実習・組織学実習・肉眼解剖実習から構成，人体の正常構造をマクロ・ミクロの観点から多角的に学ぶ。実習最後の2回は広島大学医学部解剖センターに出向き，ご遺体の様々な剖出標本について学ぶ見学実習を行う。この見学実習を通して，単に解剖学の知識の定着だけでなく，人体の神秘と尊厳を学び，医療者になる自覚を高める。

見学実習では教員による説明は行わず，学生が各自事前に立てた学習目標に基づき作成した学習資料に基づき，自分の力でご遺体に向き合っただけで学ぶというスタイルを踏襲している。この場に昨年度までに見学実習に参加した上級生が学修支援アドバイザーとして加わり（3年・7人，4年8人），上級学年としての経験を活かしながら，2年生の学びをアシストする。

## 2. アクティブ・ラーニング導入の具体的な流れ

○科目名 解剖学実習における人体解剖見学実習

段階	指導過程・学修活動	指導上の留意点(工夫)	評価方法
導入	見学実習前の事前説明会開催で2年生と参加予定の学修支援アドバイザーが面談できる機会を設けた。アドバイザーは，事前資料の作成の仕方などについて2年生とコミュニケーションをとった。	アドバイザーには，自分が実際に参加した見学実習での体験をもとに学習資料の作成方法や当日の学び方についてアドバイスするように指示した	
展開	広大解剖センターでの見学(2018年8月23,24日実施)では，理学療法・作業療法学科の混成班(各4人)を8班作成し，各班にアドバイザーを2人ずつ配置した。 2日間にわたる見学実習の間，2年生とアドバイザーは班単位で行動した。	アドバイザーには，解剖学の知識自体を与える必要はないこと，標本の見方や観察のポイントなど，主として学修の仕方についてアドバイスするように伝えた。 教員は基本的に説明(知識の伝授)を行わず，アドバイザーの活動の状況把握と2年生とのコミュニケーションがうまく取れているかどうか配慮した。	
まとめ	見学実習終了後に，アドバイザーと2年生双方にアンケートを行い，学修支援アドバイザー配置の意義や次年度への継続性について学生側の意見を聞いた。		

## 3. 成果・効果

- ・人体解剖見学実習を経験した上級生がアドバイザーとして存在することで，2年生が自らの学修到達目標を先輩という形で具現化できる。
- ・次年度は自分自身がアドバイザーとして実習に参加しようというモチベーションを上げる効果が期待される。
- ・アドバイザー自身が専門科目の学修，臨床実習の体験を踏まえて再び専門基礎科目の重要性を再認識する機会につながり，また同時にそのことを下級生に伝える貴重な機会にもなる。

#### **4. 課題**

アドバイザー立候補へのモチベーションに学科間に差があるため、理学療法学科・作業療法学科双方から同等数のアドバイザーを確保することが難しいこと。結果的に、見学実習班は理学・作業療法学科の混成班にしているため、2年生とアドバイザー同士のコミュニケーションが悪い場合が発生した。

#### **5. 資料**

「解剖見学実習への学修支援アドバイザーの活用」に関するアンケート結果（2018年8月24日実施）の抜粋（別紙添付）

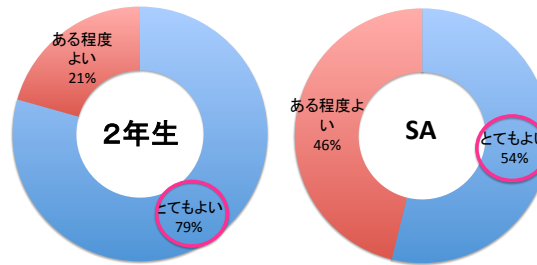
## 見学実習後に学修支援アドバイザー(SA)に関するアンケートを実施

- ◆ 見学実習への上級生SA参加の意義について
- ◆ SAの利用状況について
- ◆ SAの役割について
- ◆ 次年度以降のSA候補について
- ◆ 自由記載意見

対象: 理学療法学科 (PT) 2年:31名  
 作業療法学科 (OT) 2年:32名  
 SA 3年:7名, 4年:8名

SA配置に関するアンケート結果より

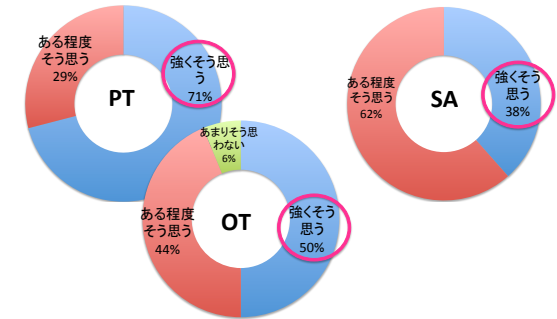
見学実習経験者の上級生がSAになることについてどう思いますか



SA配置に関するアンケート結果より

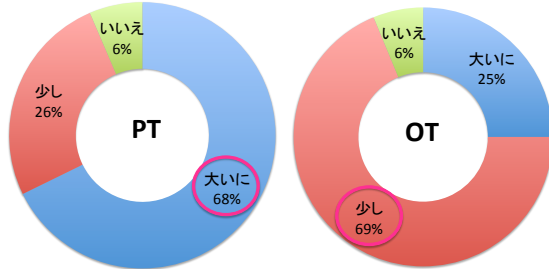
SAは積極的にアドバイスしてくれましたか

あなた自身(SA)は積極的に活動しましたか



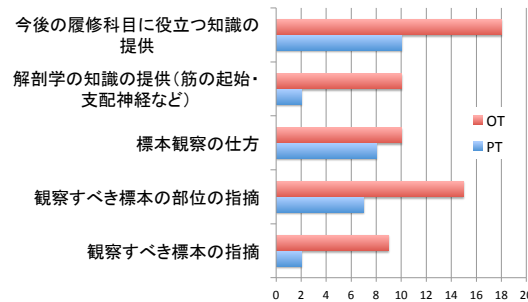
SA配置に関するアンケート結果より

あなた自身(2年生)はSAと直接コミュニケーションを取りましたか



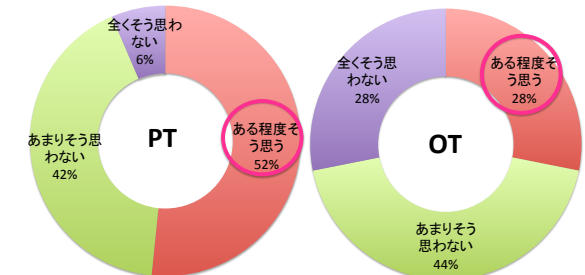
SA配置に関するアンケート結果より

SAにして欲しかったことは何ですか(2年生対象)  
 (複数回答可)



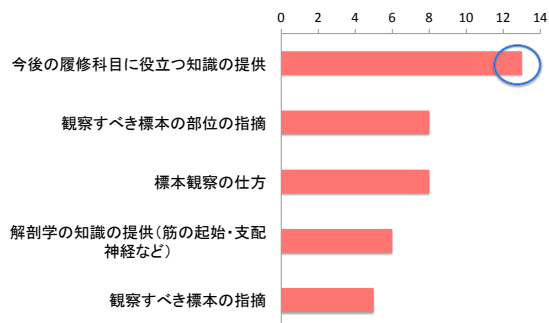
SA配置に関するアンケート結果より

来年度あなた自身(2年生)がアドバイザーになってみたいと思いますか



SA配置に関するアンケート結果より

SAとしてした方がよいことは何ですか(SA対象)  
 (複数回答可)



SA配置に関するアンケート結果より

### 2年生の自由記載から

- ・股関節や膝について実習での体験を含めながら教えて下さいました
- ・実際に標本を観察すると部位などわからなくなりましたが、観察のポイントとしてどこを目安に見ればよいかなど丁寧に教えてくれた
- ・どう観察すればよいか丁寧に教えてくださり、とても勉強しやすかったです
- ・3年生ならではの視点でいろいろと教えてくださり、分かりやすかった
- ・自分では観察しなかったようなポイントが聞けてよかった
- ・3年生になったら先輩のようにしっかり知識をつけたいです
- ・先輩たちみたいになれるといいな